

主な策定計画 第2期府中地区都市再生整備計画  
第2期府中市中心市街地活性化基本計画



第1期計画の評価では、府中駅北地区におけるにぎわいの創出が、一定の数値目標の達成やアンケートでもおおむね高評価といった結果が出ましたが、中心市街地と周辺地域とのスムーズな接続や、府中駅北地区のにぎわい拠点から府中駅南地区へのにぎわいを波及するため歩行者の回遊性は十分とは言えませんでした。また、高齢者を中心とした健康増進のあり方や、子育て世代の人口流出を抑制する施策も必要とされてきました。

第2期計画では、安心・安全に歩いて暮らせる中心市街地の実現に向けて、それぞれの施設間を安心・安全に歩いて移動できるよう、歩道の整備や歩行者と車の共存道路の整備により歩行者の利便性の充実を図り、安全な歩行空間の確保と回遊性の向上を果たしました。

また、歩行空間の確保と回遊性の整備に連動し、各所に広場や公園を整備しました。府中市文化センターと橋をつながるはじまりの広場やTAMの南側に隣接するであいの広場には、発掘により出土した古代山陽道遺跡を地上に露わしたモチーフが施されています。この度整備した、広場や公園には、健康遊具を各所に設置しており、子どもの遊び場や地域の憩いの場としてだけでなく、ウォーキングの中継点としても活用が出来ます。

府中駅南地区に立地する大型商業施設と青果市場などを再編し、にぎわいの拠点となる道の駅を建設しました。そのロータリーには、市街地循環バスや市内路線バスの乗り入れを可能とし、新しい公共交通の結節点を目指しました。自家用車を利用する人だけでなく、車を運転できない高齢者が公共交通を利用することで、買い物や高齢者が、また、バスを乗換えることで病院に通院しやすくなりました。

交通広場には、高速バスも乗り入れし、周辺都市との連絡性も向上しています。

市民が生き生きとし、健康の維持と地域住民の生活を「支える医療」に重点を置いた医療提供体制を構築するため、地域医療の核となる府中市民病院を改築し、合わせて周辺道路の拡幅と歩道整備を行いました。

第1期計画で整備されたお祭り広場横に、地域交流センター（キテラスふちゅう）を整備しました。北館は観光案内を兼ねた交流スペース、南館は府中焼き店舗となっています。住民の交流にとどまらず市外から来た人からも分かりやすい場所であり、実際の店舗で府中焼き体験ができる場所としても活用されています。

子育て世代の人口流出を抑制し、魅力ある居住環境を構築するため、子育て支援センターや母子支援センターを整備し総合的な子育て支援を行います。新たに建設したこどもの国ポムポムは、市内からだけでなく市外からの利用者も多い人気施設となっています。また、通称POM小路を合わせて整備し、この小路を通って、河川敷から府中駅周辺へ行き来することができるようになりました。歩行者と自転車専用道で子ども連れでも安心して移動できます。

これまでの取り組みにより、市民や来街者の交流施設やにぎわいづくり、道路などの基盤整備による歩行者の歩きやすさに対して一定の前進を果たすことができました。引き続き安心して便利に歩いて暮らせるまちづくりを目指し、整備の効果や十分に発揮できるよう歴史的観光資源の活用や健康増進など、市で推進する各政策と連携し取り組んでいきます。

第1期計画の評価では、府中駅北地区におけるにぎわいの創出が、一定の数値目標の達成やアンケートでもおおむね高評価といった結果が出ましたが、中心市街地と周辺地域とのスムーズな接続や、府中駅北地区のにぎわい拠点から府中駅南地区へのにぎわいを波及するため歩行者の回遊性は十分とは言えませんでした。また、高齢者を中心とした健康増進のあり方や、子育て世代の人口流出を抑制する施策も必要とされてきました。

第2期計画では、安心・安全に歩いて暮らせる中心市街地の実現に向けて、それぞれの施設間を安心・安全に歩いて移動できるよう、歩道の整備や歩行者と車の共存道路の整備により歩行者の利便性の充実を図り、安全な歩行空間の確保と回遊性の向上を果たしました。

また、歩行空間の確保と回遊性の整備に連動し、各所に広場や公園を整備しました。府中市文化センターと橋をつながるはじまりの広場やTAMの南側に隣接するであいの広場には、発掘により出土した古代山陽道遺跡を地上に露わしたモチーフが施されています。この度整備した、広場や公園には、健康遊具を各所に設置しており、子どもの遊び場や地域の憩いの場としてだけでなく、ウォーキングの中継点としても活用が出来ます。

府中駅南地区に立地する大型商業施設と青果市場などを再編し、にぎわいの拠点となる道の駅を建設しました。そのロータリーには、市街地循環バスや市内路線バスの乗り入れを可能とし、新しい公共交通の結節点を目指しました。自家用車を利用する人だけでなく、車を運転できない高齢者が公共交通を利用することで、買い物や高齢者が、また、バスを乗換えることで病院に通院しやすくなりました。

交通広場には、高速バスも乗り入れし、周辺都市との連絡性も向上しています。

市民が生き生きとし、健康の維持と地域住民の生活を「支える医療」に重点を置いた医療提供体制を構築するため、地域医療の核となる府中市民病院を改築し、合わせて周辺道路の拡幅と歩道整備を行いました。

第1期計画で整備されたお祭り広場横に、地域交流センター（キテラスふちゅう）を整備しました。北館は観光案内を兼ねた交流スペース、南館は府中焼き店舗となっています。住民の交流にとどまらず市外から来た人からも分かりやすい場所であり、実際の店舗で府中焼き体験ができる場所としても活用されています。

子育て世代の人口流出を抑制し、魅力ある居住環境を構築するため、子育て支援センターや母子支援センターを整備し総合的な子育て支援を行います。新たに建設したこどもの国ポムポムは、市内からだけでなく市外からの利用者も多い人気施設となっています。また、通称POM小路を合わせて整備し、この小路を通って、河川敷から府中駅周辺へ行き来することができるようになりました。歩行者と自転車専用道で子ども連れでも安心して移動できます。

これまでの取り組みにより、市民や来街者の交流施設やにぎわいづくり、道路などの基盤整備による歩行者の歩きやすさに対して一定の前進を果たすことができました。引き続き安心して便利に歩いて暮らせるまちづくりを目指し、整備の効果や十分に発揮できるよう歴史的観光資源の活用や健康増進など、市で推進する各政策と連携し取り組んでいきます。